

第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」実施報告

期間 / 平成24年10月～平成25年8月

	日程	講師等	概要	内容
平成 24 年度	第1回 平成24年 10月12日(金)	塾長	開講式・塾長講話 塾生の自己・自社紹介	塾の沿革、講座の趣旨企業での 自分の役割、講座での自分の目 標
	第2回 11月2日(金)	(株)アルマ経営研 究所 執行役員 加藤 珪一 氏	リーダーシップ・コーチング 講座	経営者、管理者として必要な「リ ーダーシップ」、「コーチング」に ついて学ぶ
	第3回 平成25年 1月11日(金)	同上	企画力・提案力向上講座	実際に簡易な企画書を作成する ことにより、「企画力」と「提案力」 について学ぶ
	第4回 2月8日(金)	(株)キー・ロジ 代表取締役 大原 章道 氏	経営を考える ～目に見えない資産の把握 と活用～	経営資産の把握と活用を通し て、経営の基礎を学ぶ
	第5回 3月8日(金)	吉田牧場 吉田 全作 氏	経営者の思いを聴く その1 ～仕事と生甲斐～	経営者から企業沿革、理念等、 会社についての思いを聞く
平成 25 年度	第6回 4月12日(金)	企業見学	経営の現場を見る	・カバヤ食品(株) ・(株)岡山村田製作所
	第7回 5月10日(金)	(株)戸田レーシング 代表取締役 戸田 幸男 氏	経営者の思いを聴く その2 ～私の歩んだ道-ルクマ・もの づくりの夢をカタチにする～	経営者から企業沿革、理念等、 会社についての思いを聞く
	第8回 6月14日(金)	(株)オーディーエル 代表取締役 堀江 龍一 氏	プレゼンテーション力(話す 力)開発講座	成果発表会に向け、効果的なプ レゼンテーションについて学ぶ
	第9回 7月12日(金)	塾長	成果発表会	一年間の成果、反省、今後の目 標等を発表する
	第10回 8月23日(金)	塾長	成果発表・塾長講話 閉講式(修了証書授与)	同上

第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」第1回実施報告

- 1 日時 平成24年10月12日(金)
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室
- 3 講義内容

平成2年に始まったつやま産業塾「経営能力開発講座」は、今期で第17期を迎えます。今期は市内に在住又は在職されている企業人16名が入塾しました。

開講式では、つやま産業塾塾長で岡山大学名誉教授でもある可児弘毅先生が、長岡藩の「米百俵」の話に基づいてつやま産業塾について説明し、「自分が取り組んでいる課題や問題について、どういったヒントがあるかを考えながら受講してほしい。講師の話の中には必ず良いヒントがある。また、この産業塾で人脈作りもしてほしい。」と講話しました。

その後、開講式に出席した塾生14名が自己・自社紹介をしました。一人の持ち時間が4分と大変短い中、口頭やプロジェクター、資料を使った紹介等、各塾生の仕事内容や個性が良くわかる発表でした。

これから約1年間、この16人の仲間将来の津山市のリーダーを目指して学んでいきます。

開講式後は懇親会を開催し、塾生同士で交流を深めました。

講座風景



第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」第2回実施報告

1 日時 平成24年11月2日(金)

2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室

3 講義内容

10月に開講式を迎えた経営能力開発講座ですが、第2回は(株)アルマ経営研究所執行役員である加藤珪一氏による「リーダーシップ・コーチング講座」を開催しました。

講座の冒頭、加藤氏はリーダーシップとは「目標設定、課題設定を行い、解決方策、改善方策を立案し、部下、上司、同僚の協力を得て目標を達成できること」であると話されました。そして、事前に用意した「リーダーシップチェックリスト」を用いて、「責任感」、「職場の雰囲気作り」、「衆知を集める」等の44項目にチェックを行い、自分についての再認識を塾生にしてもらいました。このチェックリストからリーダーとして足りていない部分を探し、「理想的な自分の姿」をイメージすることで、各塾生が目標設定を行いました。

その後のコーチングでは、各塾生の目標設定の実現方法を2人1組になって話し合いました。このコーチングで重要なのは、コーチングをする側が目標の実現方法や課題の解決方法を相手に考えさせ、導き出してもらうことです。一方的に実現方法、解決方法を相手に教えることは、「コーチ」ではなく、「ティーチ」であるとのことでした。コーチングの強みは、自分自身で導き出した方法を実行するので、行動力が上がるという点です。言葉を知っていても、今までにコーチングをしたことがあるという塾生はいませんでした。初めて実践するコーチングに戸惑う場面もありましたが、設定した時間内では足りないほど全員熱心に話し合いをしていました。

今回の講座で導き出した目標の実現方法を実践することで、各塾生のさらなる成長に繋がっていくと期待しています。

講座風景



第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」第3回実施報告

1 日時 平成25年1月11日(金)

2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室

3 講義内容

経営能力開発講座第3回は、前回に引き続き㈱アルマ経営研究所執行役員の加藤圭一氏による「企画力・提案力向上講座」を開催しました。

今回の講座は「習うより実践!」ということで、グループに分かれて夏祭りを企画しました。

夏祭りの条件は、予算100万円、動員人数300人以下というだけで、その他は塾生が自由に企画するというものです。今回の講座では、事前にこの条件の夏祭りを各塾生に課題として提出してもらいました。

講座では各グループでリーダーを決めた後、グループ内で自分の企画を説明し、基本となる夏祭り企画を決めました。そして、グループ内でその企画のコンセプト、ターゲット、イベント等を付け加えていき、ブラッシュアップしていきます。

企画の最中、一定時間毎にリーダー以外のメンバーの入れ替えを行うので、リーダーには新しいメンバーへの説明能力、企画を完成に導くリーダーシップが必要となります。この入れ替えを2回行い、最後のメンバーで企画を完成させます。

完成後は各グループのリーダーがプレゼンテーションを行い、質疑応答、評価を行いました。どの企画も明確なコンセプトがあり、大変魅力的なものでした。

多くのメンバーで企画作り、時間(納期)内にまとめ、発表(納品)する。今回の講座は実際の仕事工程を濃縮したような内容でした。それを短時間で行ったからこそ、塾生個々で得た気づきは多くあったと思います。

講座風景



H25.1.11 三村 鶴山中

タイトル 津山ホテル祭り

君は何種顔見つけられるか!

コンセプト 地域の貴重な自然に囲まれることによる環境
エコ活動への関心を高める

ターゲット 小学生までの子供といた家族

概要 嵐の部 夜の部の2部構成

第1部 エコ教室 エコ体験コーナー

第2部 ホテル鑑賞

第1部-第2部へのコース上に地元小学生
などに絵を描いてもらって灯を灯る鑑賞を楽しませよう



おいちん おばあちん 集まれ!!

スロー 地域対抗
味じまん コンテスト

対象 高齢者同士のコミュニティ

味の伝承 (津山の食文化)

概要 地域(町内)ごとにグループを作り
地域の食材で作った料理を
競い合ってもらおう。(味)

特徴 昔ながらの食を味わいながら
高齢者同士のコミュニケーションを図る

組織 敬老会・愛育委員



「世界最長距離! きもためし」

<コンセプト> お化け屋敷の距離をキネスに挑戦!

<ターゲット> 学生 カップル 親子 企業 チーム/コミュニティ

<協力> 津山市 企業 サバル コミュニティ

場所 鶴山公園 (PM 7:00 ~ 10:00)

参加費 大人 500円 子供無料

イベント お化けの怖さコンテスト (賞品あり)

宣伝 新聞社 JAKEN フォルダパー

内容 夜の鶴山公園でお互い助け合いながら頂上を目指す



第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」第4回実施報告

1 日時 平成25年2月8日(金)

2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室

3 講義内容

経営能力開発講座第4回は、(株)キー・ロジ代表取締役の大原章道氏を講師に迎え、「経営を考える～目に見えない資産の把握と活用～」と題して講座を開催しました。

大原氏の講座は4部構成で成り立っており、第1部では目に見えない知的資産について説明されました。これは戦略策定力、分析力等の人的資産、著作権、販売システム等の構造資産、ネットワーク、信頼等の関係資産を指します。

第2部ではこの知的資産の把握と活用の流れを説明されました。

そして、第3部では理念・ビジョン・戦略の関係をピラミッド図で示されました。このピラミッド図は頂点から「経営理念 ビジョン 経営戦略 経営企画 実行計画 実行管理 実行」という構成になっています。経営理念は社員が仕事をする上での判断基準となります。この経営理念から実行までを一気通貫で繋げることが企業として重要であるとのことでした。その他、変化に対応した経営戦略の事例を多く紹介していただきました。

最後の第4部では、経営戦略を策定するための分析力の重要性を説明されました。特にSWAT分析を重点的に説明されました。この分析方法により、自分の会社の強み、弱み、機会、脅威を洗い出し、会社の置かれている状況、どの部分を磨くべきかという戦略を策定することが出来ます。多くの企業で採用されている分析方法であるとのことでした。

これら4部構成の講座を通して、知的資産と経営戦略等の基礎知識を得ることが出来ました。今後の業務でも活かせる貴重な講座となりました。

講座風景



第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」第5回実施報告

- 1 日時 平成25年3月8日(金)
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室
- 3 講義内容

経営能力開発講座第5回は、吉田牧場の吉田全作氏を講師に迎え、「経営者の思いを聴く～仕事と生甲斐～」と題して講座を開催しました。

吉田氏は岡山市出身で北海道大学卒業後、一旦就職されましたが5年後には退職し、1984年に現在の吉備中央町で酪農業を開業しました。そして、その4年後には現在も全国に向けて販売を行っているチーズの製造を開始されました。

酪農業を始めた当初、牛は全てホルスタイン種を導入し、搾乳、チーズ製造を行っていました。しかし、スイス、フランス、イタリアへのチーズ視察を得て、より高品質なチーズを製造するためにブラウンスイス種を導入されました。特に、このチーズ視察で出会ったフランス人チーズ職人との出会いは、自分にとっての最高のチーズを作るという考えのきっかけになったそうです。

その後、イタリアを中心とした数々の視察、研修を行い、現在では、カマンベール、フレッシュ、リコッタ等8種類のチーズの製造をされています。

また、営業活動は今までで1回(東京のイタリア料理店)のみで、その1回が口コミで広がり、多くの料理店から注文を受けるようになったそうです。本物の商品は広報をしなくても必ず顧客が付いていくことを実践されています。(実際に吉田牧場にはホームページが存在しません。)

吉田氏は世界中のチーズ作りやチーズの歴史に精通しており、演題で示す通り、チーズ作りを生甲斐とされていました。私たちも吉田氏のように情熱をもって仕事に取り組んでいければと思います。

講座風景



第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」第6回実施報告

1 日時 平成25年4月12日(金)

2 場所 カバヤ食品(株)
株岡山村田製作所

3 講義内容

「経営能力開発講座」第6回は、「経営の現場を見る」と題して、企業見学を行いました。

(1) カバヤ食品(株)

カバヤ食品(株)は岡山市に本社を置く日本有数のお菓子メーカーです。

カバヤ食品のクッキー、キャンディー、グミ、プレッツェル、フィンガーチョコは全て本社工場でされており、今回の見学ではキャンディーの生産ラインを見せていただきました。キャンディーの包装から梱包までの大部分の作業は機械が行っていましたが、包装ミスの確認等の重要な部分は人の目で行っていました。(1時間ごとに交代するそうです。)

見学通路には今までのカバヤ食品の「おまけ」が展示されており、塾生は皆懐かしい気持ちで見入っていました。

工場の説明を担当されていた方は長年カバヤ食品でお菓子の研究開発をされていたそうで、「チョコレートは夏場にまとめて作る」、「ジューCは冷夏でジュース粉末が余ったことにより作り始めた」、「よいお菓子の企画をしても他社の特許により製法を変えることがある」、「お菓子も流行があり、味やパッケージを常に変えていく」、「お菓子は独自の製法で作っている所以他社が全く同じものを作ることは出来ない」等、カバヤ食品の歴史、企業努力等のお話を多く聞くことが出来ました。

見学風景



(2) 株式会社岡山村田製作所

岡山村田製作所は瀬戸内市に所在しており、村田製作所グループのセラミックコンデンサ製造の中核を担っています。(世界シェア35%)

コンデンサは、パソコン、スマートフォン、テレビ、ゲーム等のあらゆる機器に使われており、身の回りの電化製品には欠かせない電子部品です。

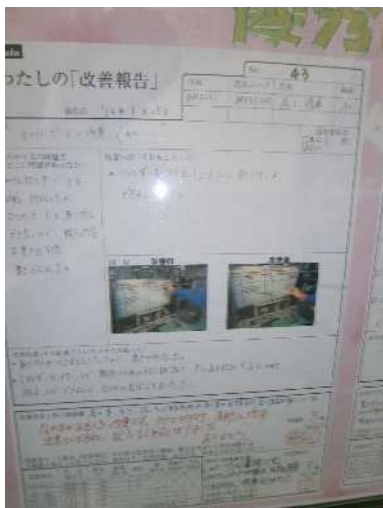
岡山村田製作所では、グループで唯一セラミック原料から製品までを作っており、今回の見学では部外者として初めてセラミック原料の製造現場にも立ち入らせていただきました。セラミック原料の工場は全てオートメーション化されており、徹底した効率化によって工場内は3人の従業員のみで作業を行うことができます。

その後、セラミックコンデンサの生産ラインを見学しました。セラミックシートに銅ペーストを埋め込み、これを何枚も積み重ね、カットして1,000で焼成することによりコンデンサが完成します。コンデンサを見たことはあっても、その作業工程を見たことがある塾生はほとんどおらず、皆その緻密で正確な作業に驚いていました。

この他にも岡山村田製作所では、「改善報告」による報奨金制度、工場周辺の自然回復のための「ビオトープ」の設置、環境教室、フットサル場解放、敷地内芋ほり会等の地域貢献といった多くの取り組みをされています。

見学した塾生は、ものづくりの現場だけでなく、企業にとって取り入れるべき多くの要素を学ぶことが出来たと思います。

見学風景



第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」第7回実施報告

1 日時 平成25年5月10日(金)

2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室

3 講義内容

経営能力開発講座第7回は、(株)戸田レーシング代表取締役の戸田幸男氏を講師に迎え、「経営者の思いを聴くその2～私の歩んだ道 クルマ・ものづくりの夢をカタチにする～」と題して講座を開催しました。

戸田レーシングは1971年に設立し、エンジン、レース用部品、自動車用部品等の研究開発、製造販売を中心に小田郡矢掛町で事業を展開されています。

また、戸田レーシングのオリジナルエンジンを搭載したレーシングカーは、フォーミュラ3(F3)でも活躍されています。多くのレースで実績を残されてきた戸田レーシングは、地元岡山に拠点を置きながら、日本だけでなく海外からも注目されている企業です。

戸田氏の講座の中で特に印象的だったのが、常に夢を持ち、それに向かってひたむきに仕事をされてきた点です。22歳でご自分の会社を設立されてから、世界に認められるクルマを作るために、エンジン、レーシングカー等を開発され、現在では国際自動車連盟(FIA)からも高い評価を得ているそうです。

戸田氏のご自分の夢を一つ実現したことにより、今後はレースだけでなく、「試作、加工ビジネス」、「エンジニアリングビジネス」、「レーシングビジネス」を三本柱として、戸田レーシングをビジネス的にも発展させていくとのことでした。

海外レース等での経験談も大変楽しく聴かせていただき、戸田レーシングの成功は、その高い技術力はもちろん、人を引き付ける戸田氏の人柄も大きかったのではないかと感じました。

講座風景



第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」第8回実施報告

- 1 日時 平成25年6月14日(金)
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター 2階第2会議室
- 3 講義内容

経営能力開発講座第8回は、(株)オーディーエル代表取締役の堀江龍一氏を講師に迎え、「プレゼンテーション力(話す力)開発講座」を開催しました。

講義では、まず相手を知り、緊張をほぐすために、24時間以内にあった嬉しかったこと、楽しかったこと、感動したこと等を1人1分間ずつ話しました。ここでは、楽しかったこと等を話すことが重要なポイントで、塾生の皆さんは自然と笑顔になっていました。

堀江氏のお話では、プレゼンには4つのレベルがあり、レベル1は「話せるけどわかりにくい」ですが、レベル4まで行くと「共感・感動を呼ぶことができる」ということです。各塾生もそれぞれのレベルに対して具体例を挙げていきました。レベル4で重要なことは、実体験を含んだ話をし、相手の右脳(イメージ)にうったえかけるということでした。

また、プレゼンで説明力と説得力を上げるポイント、プレゼンの流れ(結論 理由 具体例 最後に再度結論)等について多くの知識と技術を教わることが出来ました。最後に教わったことを踏まえて、堀江氏から出されるお題について塾生全員が2分間のスピーチを行いました。お題は、家族、社会問題等様々ですが、塾生は困惑しながらもしっかりとした口調でスピーチをしていました。

今回の講義は、来月の成果発表会を控える塾生にとって、大変有意義なものとなりました。

講座風景



第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」第9回実施報告

- 1 日時 平成25年7月12日(金)
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室
- 3 講義内容

「経営能力開発講座」第9回は、このつやま産業塾を一年間受講した成果を各塾生に発表会してもらいました。

塾生には「塾生としてのこの一年間の成果(自己評価)」、「今後の課題と抱負」、「自分の経営能力開発に関し、塾での講座以外に取り組んでいるもの」、「仲間にひとこと」といった4項目についてレポートを提出してもらい、一人10分を持ち時間として発表を行いました。

今回の発表会では、8人の塾生が講座内で学んだコーチング、プレゼンテーション、経営者の考え等を、どのように仕事に活かしていくかを熱心に発表していました。質疑応答の際も多く塾生から質問があり、活発な意見交換が行われました。

次回、経営能力開発講座第10回では、残りの塾生の発表と閉講式を行います。

塾生の意見・感想等

- ・ 今期は参加型の講座が多く、常に緊張感を持って取り組むことが出来ました。
- ・ 講座を受けるだけでは、やはり身につかない。一度卒業してから習ったことを実践していかなければいけないと思います。
- ・ 自分自身リーダーとして、あるべき姿をメンバーに明確にし、計画実行していくことが成長のキーワードとして感じました。
- ・ これまで地元の人脈が皆無だったが、講師・塾生の方など志の高い人たちと多くの人脈が出来た。
- ・ 吉田牧場様のお話は、今後の自分の人生の生き方に大きな影響を受けたといっても過言ではないと思っています。
- ・ 経営者と従業員の方々の意思や考えも一緒に汲み取って、双方にとって良い結果になるような仕事をしていきたいです。
- ・ 第8回講座のプレゼンテーション力(話す力)は、今の仕事に実践しています。これを実践すると、仕事上良い成果が上がりました。
- ・ お客様の質問を調べて対処していくことにより、自分も成長していくと思いますので、毎日が勉強だと思い業務を遂行していきたいと思っています。

講座風景



第17期つやま産業塾「経営能力開発講座」第10回実施報告

- 1 日時 平成25年8月23日(金)
- 2 場所 津山圏域雇用労働センター 1階第1会議室
- 3 講義内容

「経営能力開発講座第10回」で第17期つやま産業塾の最後の講座です。
今回の講座では、塾生による成果発表会、修了証書授与、閉講式を行いました。
一人15分の持ち時間(質疑応答含む)で、前回発表しなかった4人の塾生が発表しました。

塾生の意見・感想等

- ・ 講座を通して、経営者の考えや目線を知ることが出来た。
- ・ 自分が会社の財産になれるかと考えられるようになったことが今回の一番の成果であると思う。
- ・ プレゼンテーション講座を受講し、自分の想いを正確に伝えるためには、結論理由 具体例 再度結論といった流れを常に癖づけるように心がけている。
- ・ 今後、塾生仲間とコラボし、何か楽しいことが出来ればと思う。
- ・ 異業種の方々の意見は、とても参考になった。
- ・ 講座の中で自分の考えの未熟さ、違う視点から見た新たな発想等を吸収できる機会を得られた。
- ・ 産業塾でしか築けない経験・人脈が私の大きな財産になっている。

成果発表後に今回の産業塾の修了基準(出席率6割以上)を満たした塾生11人に可児塾長から修了証書が授与されました。

そして、可児塾長より「塾生の皆さん、この一年間ご苦労様でした。皆さんの成果発表を聞かせてもらおうと、それぞれこの塾で得るものがあった様に思えます。この塾だけで経営の全てを学べるわけではありません。この塾は、これから皆さんが勉強を始める「きっかけ」になればと思います。今後、この塾で学んだことを自分で考えて、それを実践して行ってください。また、第17期の16人の塾生の繋がりを大事にして行ってください。今後も皆さんの研鑽を願っています。」との講話がありました。

事務局としても、今後、第17期塾生の皆さんが産業塾で学んだことを活かし、地域や職場で活躍されることを期待しています。

講座風景

